

福浜議員 要望項目一覧

令和3年度6月補正分

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
<p>(1) 県版警報の基準について 「県版警報」解除の2基準の内、「週あたりエリア新規陽性者が3人未満となった翌日から」というのはメドが推測可能な一方で、「エリア病床稼働率が15%未満となった翌日から」というのは、分母のエリア毎の確保病床数が公表されておらず、県民には不透明な状態。エリア毎の稼働率を公表した方が、医療逼迫への注意喚起や警報解除に向けた機運UPにも繋がると考えます。検討していただくよう要望します。</p>	<p>新型コロナ警報の発令及び解除基準に使用している地区ごとの病床稼働率は、これまで公表を行っていなかったが、地区ごとの医療提供体制の現状を県民にお伝えすることも重要であることから、保健所とも相談し、地区ごとの病床稼働率など、医療提供体制の公表内容について検討する。</p>
<p>(2) 陽性者の個別公表について 陽性者の公表項目に「居住地」「年代」「性別」欄があるが、全て「非公表」が増えている。 (例) 401～440例目(40名)⇒「全て非公表20名：一部公表9名：全て公表11名」 過去には、陽性判明の公務員が「全て非公表」とした際、「公表を求める側の行政職員が非公表とするのはおかしい」との指摘が数多く寄せられました。今は「保健所管轄が必ず明記」されるようになったとのこと。影響が大きな「学校等で陽性判明の場合も公表」されていることを勘案すると、「居住地」「年代」「性別」の個別公表は取り止め、「週単位の合算」で公表するように変更してはと考えます。検討していただくよう要望します。</p>	<p>陽性者情報については、個人情報の保護に留意しながら公表しているところであり、引き続き陽性者の理解の得られる範囲で公表し、県民への注意喚起を図っていく。 また、感染経路や年代別感染者数など、県民の感染予防に繋がる統計情報について、個人情報に慎重に配慮しながら、一定期間集計したものを公表することも含め、検討する。</p>
<p>(3) 公共交通機関での感染防止について 本県に「変異株」が流入以降、これまで「大丈夫だった」ことが通用しなくなりつつあり、特に不安の声が大きいのが通勤や通学時に混雑する「列車」や「バス」の車内換気です。再点検の必要があるように感じます。同時に問題がないのであれば、行政アナウンスで不安の解消を図っていただくよう要望します。</p>	<p>鳥取大学医学部の景山誠二教授のアドバイスのもと、公共交通機関・業界団体と協力し、各車両で窓を閉め切った状態でも数分で空気が入れ替わる換気性能の高さを実証試験してPR映像を作成し、SNS・県政番組・ラジオ放送など様々な形で発信している。また、各事業者は、窓を少し開けて走行する換気や、停車した際にドアを全開にするなど、出来る限りの換気を行ったり、抗ウイルスコートやオゾン発生等による空気清浄機の資機材整備など、様々な対策を講じている。 加えて、さらなる高性能空気清浄機等の導入のための支援や車両を用いた感染拡大防止のための広告などにより、利用者に安心して公共交通機関をご利用いただけるよう取り組むとともに、県民への情報発信を行っていく。 【5月臨時補正】 交通事業者に対する新型コロナウイルス対策支援事業 104,132千円 (参考) 県内公共交通機関の換気性能PR動画 https://www.pref.tottori.lg.jp/292983.htm</p>

<p>(4) 県外往来に伴う検査費用の補助について</p> <p>今月末で終了する予定の「県版・新型コロナ警戒事態宣言」後に、県外往来自粛気運が多少なりとも緩むことを想定する必要があります。「変異株」や「インド株」など新たな変異による爆発的感染を防ぐ手段として、県外往来者が自主的に検査を受けていただくハードルを下げため、検査費用の半額を、県単独もしくは市町村と折半する形で補助する施策を検討していただくよう要望します。</p>	<p>県外往来の不安解消のために行う自主検査に対する支援については、県外往来を助長することにも繋がることから、考えていないが、本県では、「鳥取方式」により、幅広く行政検査を行っており、少しでも体調異変を感じたら、かかりつけ医若しくは受診相談センター、接触者等相談センターへ相談いただき、速やかに検査を実施することとしているところであり、引き続き早期検査による感染拡大防止に努めていく。</p> <p>なお、国の基本的対処方針において、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域については、県境をまたぐ移動は極力控えるように促すとともに、どうしても避けられない場合は感染防止策の徹底とともに、出発前又は到着地での検査の勧奨することとされたところである。</p>
<p>(5) 感染経路の公表について</p> <p>感染経路は「飲食店」「家族」「職場」「介護施設」などが割合と共に公表されていて参考になるが、それぞれどんな形の接触で感染した可能性が考えられるのか？具体事例があれば予防実践に役立ちます。検討していただくよう要望します。</p>	<p>日頃、直近の感染事例を踏まえた予防実践に役立つ内容を県民へのメッセージとして発信している。感染時の接触状況は、それぞれ異なるため、統計的なまとめが難しい場合もあるが、一事例として示すことを考えていく。</p>